

第 13 回遠州広域行政推進会議 議事要旨

- 1 日 時 平成 29 年 8 月 16 日（水）15：00～16：45
- 2 場 所 湖西市新居地域センター2 階 大会議室
- 3 出席者 浜松市長（座長）、磐田市長、掛川市長、袋井市長、湖西市長、御前崎市長、牧之原市長、森町長
- 4 概 要 以下のとおり。

報告事項

(1)地域資源を活かした広域観光の推進について（最終報告）

資料 1 に基づき、事務局（浜松市観光 CP 課長）から説明。

- 意見なし。

議 題

(1)日本遺産認定に向けた取り組みについて

資料 2 に基づき、事務局（浜松市文化財課長）から説明。その後、質疑応答。

- [湖西市長] 申請数が増加して倍率が上がっているため、内容も重要だが、ネーミングやインパクトがある目玉づくりなど、とにかく目立たないと埋没してしまう。観光振興目的であるため、ストーリー構成を考える際も、単純に祭りなどを並べるのではなく、外国人から見て面白い、分かりやすい事柄を前面に出す方がいい。
- [御前崎市長] 39 市町全てに関連する要素はあるのか。
- [事務局（浜松市文化財課長）] 当初の構想では無形文化財を中心に据えていたが、1 年のうち 1 日、2 日しか見ることができないため、365 日いつでも見られるものを中心に構成するように、と文化庁から指示があった。現在は、あまり外国の方に知られていない秘境を売りに飯田線と天竜浜名湖鉄道を中心としたストーリーを検討している。
- [掛川市長] 掛川市も独自で日本遺産申請を検討している。掛川は歴史文化があり、木造駅舎が残る木の文化もあるため、申請に向けて現在文化庁とやり取りをしている。来年の申請を考えているため、来年は三遠南信地域での申請と併せて、2 本申請することになるが、ご容赦いただきたい。
現在の日本遺産は、従来の文化庁的考え方ではなく、観光振興を前面に出した考え方が強く出ている。静岡県からは申請が行われていないため、本市独自の申請も進めている状況である。内容は、報徳精神を中心にストーリーを組み立て、関連する木造建築群について、認定の申請を出す予定である。
- [浜松市長] 日本遺産は、地域型、シリアル型どちらでも申請ができるため、三遠南信での取り組みと同時に進めていただいて問題はない。
- [袋井市長] 当初、民俗芸能で申請する方針を聞いた際に、民俗芸能の場合来た人はいつ見られるのだろうか、見られない時期の方が多いと感じていた。例えば、民俗芸能に郷土料理を絡めるなどしてはどうか。これだけの地域があれば、必ずその地域特有の料理や産品があるはず。それを何とか結び付けていけば 1 年中楽しんでもらえるのではないかと。
- [事務局] 観光振興のため、その土地ならではのものを必ず紹介するように、と指示を受けている。食べ物自体が日本遺産に認定されるかは定かではないが、

その土地の食べ物や見どころを紹介していくことを検討している。

- [袋井市長] 昔からある料理方法などと併せて紹介すればいい。
- [浜松市長] 民俗芸能と郷土料理を併せて、観光誘客につながるストーリーづくりを検討してほしい。
- [御前崎市長] 天浜線を中心に検討中との話だが、必ずしも天浜線そのものに関連付けなくてもいいだろうか。天浜線に限定すると外れてしまう市町が出てしまうので、その他の要素も併せて上手く関連付けてほしい。
- [牧之原市長] このような申請は、後になればなるほど申請数が増えて審査が厳しくなっていく。日本遺産認定は大変魅力的だが、本当に4千万、2千万、1千万も補助を出してもらえるのか。文科省事業で補助率100%は本当か。お金の部分の担保について、確認したい。
- [事務局（浜松市文化財課長）] 先日、静岡県で日本遺産の申請に関する説明会が開かれた際に、1年目4千万、2年目2千万、3年目1千万を上限に補助を行うと文化庁が明言した。オリンピック終了時点で補助が打ち切られる訳ではなく、申請から3年間は確実に補助が出る。しかし、後々尻すぼみになっていくことも想定して、早目の申請を考えている。
- [浜松市長] 安倍政権の要は観光立国日本であるから、予算が付きやすいのだろう。我々はそれを上手く活用していきたい。事務局はいただいた意見を活かして、目立つような良い案を作ってほしい。

(2)インバウンドを見据えた広域連携のあり方について

資料3-1、3-2に基づき、事務局（浜松市観光CP課海外戦略担当課長）から説明。その後、質疑応答。

- [袋井市長] 11月3日にラグビーWCの開催ゲームが決定する。他国同士の試合の場合、よほどラグビーが好きでないと来ないだろう。エコパ5万人のうち、2割の1万人程度が外国人観光客ではないかと想定している。4ゲーム割り当てられれば、単純計算で4万人程度と考えている。
- [事務局（浜松市観光CP課海外戦略担当課長）] 豊田スタジアムでの試合もあるため、遠州地域を訪れる外国人観光客はその倍程度期待できるだろう。
- [浜松市長] 豊田市との連携については、早目に動かないと三重県や高山（岐阜県）に観光客をとられてしまうおそれがある。適切に進めてほしい。
- [袋井市長] 宿泊施設と運動施設の両方が揃っていないと落選してしまう。
- [御前崎市長] 御前崎市の場合は、ゴルフ場内にサッカー場とホテルがある。そのサッカー場を非常に気に入っていただいた。また、芝生の質も気に入ってもらえたようだ。
- [掛川市長] 現在の基準はとても厳しいが、キャンプ地として手を挙げる自治体が多ければ申請も厳しくなる。申請団体が減れば、だんだんと基準も緩和されるだろう。
- [浜松市長] 現在キャンプ地に認定されたのは御前崎市だけか。
- [袋井市長] 東部地域でもどこか決定していたはずだ。
- [御前崎市長] 御前崎市の場合は、先方からは是非使わせてほしいという要望があった。それくらい芝生の質が良い。
- [牧之原市長] このような国際大会の場でもっと活用してもらい、その後も継続した利用につなげるチャンスである。
- [御前崎市長] 芝生については、2020オリンピック・パラリンピックの国際競技

場でも使ってもらえるように PR を行っている。

- [袋井市長] 外国人観光客は、Wi-Fi やカードが使えないと困る。会場周辺に屋台があっても、支払いが現金では利用できない観光客が多い。
- [浜松市長] 屋台で民間事業者が提供するサービスを使えないか。
- [牧之原市長] 中国では WeChatPay が主流。レンタサイクルも利用登録や決済手段がすべて電子化されているため、乗り捨て可能になっている。すべてがスマホで完結する時代になっている。民間事業者と提携して電子化しないとだめだ。
- [浜松市長] 海外から観光客を呼び込む際に、電子決済の環境整備は重要である。非常に良い問題提起だ。
- [御前崎市長] (ラグビーWC 会場周辺への) 出店条件は厳しくないか。
- [袋井市長] とても厳しい。特に会場から 500m 以内は、元々その場所に存在していた店がいいが、ラグビーWC の観戦者を対象に新たに商売を行うのはだめだ。500m エリアは協賛するスポンサー企業以外は出店できないらしい。
- [浜松市長] Wi-Fi の整備状況はどうか。
- [袋井市長] 香港や台湾はホテルが全て Wi-Fi 対応だったが、袋井市の場合は民泊だから難しい。ホテルの Wi-Fi は、利用者を宿泊者に限定するため、室内での利用となり、施設ごとに異なっている。せめて、遠州地域内の公共施設は、Wi-Fi 環境の共通性があると、統一感があって良い。整備には多額を要するのか。
- [掛川市長] 掛川市では、67 か所で Wi-Fi を利用可能にしている。光回線が導入されていれば、費用的には月 500 円程度の負担で一般開放できるので、民間事業者の設置も含めて、市内全域で利用可能になるように進めている。Wi-Fi が利用できないところへは、外国人観光客は行かないだろう。
- [袋井市長] Wi-Fi の整備状況について、実態の調査をしてみないか。
- [事務局] 浜松も、大河ドラマの放送開始前に、観光拠点では Wi-Fi 環境が必要だという話になり、整備を進めた。中心市街地の商店街では、共通の Free Wi-Fi を導入しているが、公共施設への導入については今後検討していきたい。実態の調査から始めて、何処までやれるのか検討したい。面的な整備は必要だと考えている。
- [牧之原市長] 大河ドラマを契機に整備したのであれば、おおよその事業費は出ているのではないかと。多額の事業費を要したのか。
- [事務局] 整備費の半額補助を実施したが、元の整備費が 1 か所当たり 5 万円もかからないため、それほど多額ではない。それとは別に、Wi-Fi の導入については、現在国で全国統一フォーマットを検討する動きもある。
- [袋井市長] 全国での統一フォーマットを待っているのは、導入がいつになるかわからない。まずは、遠州地域で一緒に取り組んではどうか。
- [湖西市市長] 全国はまだしも、この地域だけでも統一できないか。アクセスポイントごとに利用方法が変わるとかえって面倒になる。
- [浜松市長] Wi-Fi 環境の統一について、検討してみてもどうか。
- [森町市長] そもそも光回線に加入していないと使えないのか。ADSL と光では、通信速度にどれくらい違いがあるのか。
- [事務局] 同じ光回線でも、個々の契約や端末の通信速度によって異なるため、一概にどれくらいとは言い難い。
- [浜松市長] 例えば、グーグルと提携して実験的に何かできないか。
- [袋井市長] まずは各地域の整備状況について、細かな調査が必要だ。
- [浜松市長] Wi-Fi の調査と、決済システムであれば、簡単に導入できるとベンチャー企業がプレゼンしていた。まずは調査をして、企業と連携して取り組んで

はどうか。

- [事務局] 行政単独ではなくて、民間事業者と連携してということですね。
- [浜松市長] 行政単独ではなく、民間の資本を使って導入できればなおいいので、工夫してみよう。続いて、デスティネーションキャンペーンについては、どうか。
- [事務局] デスティネーションキャンペーンは、県が主導しており、遠州地域の場合は天竜川を挟んで西部と中部に分かれている。
- [浜松市長] 放っておくと、県は東部にばかり注力するため、適切な働きかけが必要だ。
- [牧之原市長] 県は、伊豆のPRのためにデスティネーションキャンペーン開催を希望していたが、JR から伊豆だけでは開催できないと言われて県内全域を対象とした。静岡県は観光エリアが複数あるため、各地でバラバラに取り組みを行うよりも、県が一括してPRをした方が効率的だ。
- [浜松市長] このような取り組みこそ連携して行うべきだ。富士山静岡空港のキャンペーンで海外から人を呼んだ際に、東部と中部だけで西部は何も取り組みが無かった。県に全部任せると、東部と県庁のある中部ばかりで西部は放っておかれる。連携してきちんと県に働きかけていく必要がある。
- [牧之原市長] 少し話が戻るが、電子決済が進むと銀行が不要になる。そのため、銀行やその子会社であるカード会社は電子決済の導入に積極的ではない。アマゾンやアリババなどの大企業とこの地域が連携して取り組めば、非常に大きなインパクトになる。
- [磐田市長] 県西部という枠組みでの取り組みでもインパクトはあるのか。
- [牧之原市長] インパクトは十分ある。ただし、その時は銀行系と喧嘩するくらいの覚悟がないと難しいだろう。
- [浜松市長] 電子決済を導入してすぐにクレジットカードの利用を止めるわけではないし、実験段階なら問題ないだろう。SBI などの大手と組んで、最新の決済システムについてエリアで導入することを検討してみよう。
- [浜松市長] このテーマについては、Wi-Fi の環境整備や、外国人誘客のための最新の決済システムについて、今後研究していくというご意見が出た。今後、事務方で調整を行い、遠州会議の場で随時報告する形で進めていただきたい。